



平成19年(2007年)
10/1
第1145号

発行：小平市
編集：企画政策部
秘書広報課
〒187-8701
小平市小川町二丁目
1333番地
☎042(341)
1211(代表)

市報

こだいら



ルネこだいら

施設空き状況の検索が可能に

施設の空き状況がルネこだいらホームページで確認できるようになりました。

※インターネットでの予約はできませんので、ご利用の場合は、ルネこだいらへ来館してください。

問合せ (財)小平市文化振興財団
☎042(345)5111

HP <http://www.runekodaira.or.jp>



◇小平市ホームページ <http://www.city.kodaira.tokyo.jp>

◇電子メール info@city.kodaira.tokyo.jp



ルネフォトコンテスト作品「楽しい市民祭」 池口 保さん

第32回

ドドンと響く大太鼓！ 小平市民まつりの

10月21日(日) あかしあ通りで



ふるさと小平の秋を華やかに彩る、恒例の小平市民まつりは、小平市民まつり実行委員会が主催し、市と小平市民憲章推進協議会が後援して、多数の団体の協賛・協力により、10月21日(日)にあかしあ通りを舞台として盛大に繰り広げられます。

わたしたちのふるさとづくりを目指し、18万市民が心をひとつに、交流と触れ合いの輪を広げる市民参加の楽しい催しです。ご家族や仲間、皆さんそろって秋の1日を満喫してください。

〈詳しくは、5・6面をご覧ください〉

このほか暑かった夏も去り、9月の残暑も乗り切り、本格的な美りの秋を迎えることができました。市民の皆さんにはお元気で過ごしていただくことを祈ります。

さて、小平市は、昭和37年10月に市制施行を行い、早いもので、今年で45周年を迎えることになりました。この間、市民の皆さんのご支援、ご協力に対して心から感謝申し上げます。

さかのほること45年前、当時は三多摩各町で一番、全国では二番目に人口の多い町だった小平は、町制から市制へと変貌をとげました。以来、都心のベットタウンとして人口が急速に伸び、教育施設を始めとしたインフラ整備が進み、今日の繁栄と都市としての基盤整備を図ることが出来ました。

市制施行記念日を迎えて



小平市長 小林 正則

郷土愛を大切にするとともに、改めて先人に感謝し、今を生きる現役世代として開拓の精神を後世に受け継いでいくことをお誓い申し上げます。

さて、小平市は、急速な都市化の波をくぐり抜け、歴史的にも、青年から成人へと移行しつつあります。行け行けの急成長時代から、風格ある安定感と落ちつきを求められる安定成長時代に入っております。

人口は、9月1日現在で約18万2千人と微増する中、65歳以上の人口は約3万4千人、割合にすると、18%を超え、第三次長期総合計画の目標年次終了の平成27年度には20%に達すると予測されています。その多くは、小平市をついの住みかとして選び、家庭を持ち、子どもを生み育てた人たちです。小平市の都市としての基礎をつくられた方々です。その方々が老後を安全で安心して暮らせる、まちづくりをしなくてはなりません。それを成し遂げるには、従来の発想では限界があります。行政だけでは成しえることはできません。市民の皆さんを始め、商工会・農業協同組合・NPOなどの市民団体の皆さんのご理解とご協力がなければなりません。これらの領域は、従来の行政の範囲を超えた新しい公共の枠組みとして、市民と行政の双方が協働しないとできないものと考えざるを得ません。

課題は沢山あります。出産、育児、子どもの安全、青少年の育成、介護、ひとりの暮らしの老人、障がい者の社会参加、環境健康づくり、防災、地域コミュニティなど、行政の枠組みと言われた限界を超えて取り組みをしなければなりません。45歳になりました小平市を、これからも暖かくそして厳しく育てていただきますようお願い申し上げます。お祝いの挨拶とさせていただきます。